

## ファイナルレポート

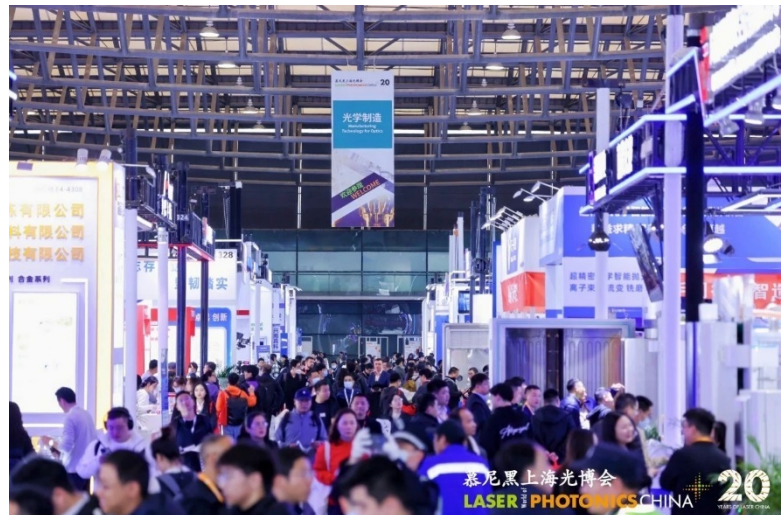
国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市  
2025年3月11日～13日 / 中国・上海新国際見本市会場

2025年3月14日

LASER World of PHOTONICS China 2025  
20周年記念開催は華々しい成果を残して大盛況のうちに閉幕

### Summary

- 総展示面積は、10 万平方メートル超
- 出展者は、23 カ国・地域から 1,404 社
- 来場者は、52,835 人
- ほかに 2 つのイベントが併行して開催され、合計 200 件のカンファレンスレポートが提示された



### Facts & Data

会 期	2025年3月11日(火)～13日(木) 9時～17時(最終日16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	100,000 m <sup>2</sup> (2024年:80,000 m <sup>2</sup> )
出 展 企 業	23カ国・地域から1,404社 (2024年:1,200社)
来 場 者 総 数	52,835人 (2024年:55,020人)
専 門 分 野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、マシンビジョン・イルミネーション
主 な 出 展 品	<b>光学コンポーネント</b> ：レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計測、サービス <b>オプティカル製造技術・光学アプリケーション</b> ：レーザー加工・製造技術、オプティカル計測システム、医療用レーザー、バイオフォトンクス・ライフサイエンス、イメージング、イルミネーション
専 用 U R L	<a href="http://www.world-of-photonics-china.com.cn">www.world-of-photonics-china.com.cn</a> (英語 / 中国語)

2025年3月11日から13日まで、LASER World of PHOTONICS CHINAの20周年記念見本市が上海新国際見本市会場(SNIEC)で開催され、成功裏に終了した。今回は、展示規模と出展者数の両方において過去の見本市を上回っており、この類の無い見本市で、業界内に総合的かつ高水準の科学技術を紹介した。そして「Integrated Photonics & Quantum Special Area」と「Biomedical Photonics Special Area」の2つの特別エリアも導入された。

メッセ・ミュンヘンのCEOラインハルト・ファイファーは、「長年にわたって、LASER World of PHOTONICS CHINAは画期的な技術を紹介する重要なプラットフォームであり、国内外のオプトエレクトロニクス産業の架け橋となっている。20周年を迎えたこの見本市は、規模、出展者数ともにかつてないレベルに達した。今後、私たちは業界と連携して新たなトレンドを取り入れ、グローバルなパートナーシップを育み、この見本市がイノベーションの最前線であり続けるよう努めていきたい」と述べている。



メッセ・ミュンヘン上海有限公司のチーフ・ファイナンシャル・オフィサーで副ゼネラルマネジャーのJan Rohde氏は、「LASER World of PHOTONICS CHINAは、常に国内外のオプトエレクトロニクス業界の注目を集めてきた。過去20年間、この見本市は、上流から下流までの企業と協力して、チャンスを活かし、困難を克服しながら、産業発展の持続可能な未来を探求してきた。20周年を迎えた今回にあって、当社は将来への進展に絶対的な自信を持っている。今後も、イノベーション主導で、サービス中心の開発理念を貫き、オプトエレクトロニクス産業の国内外の動向を敏感に察知して、業界の成長を牽引していきたい」と述べている。

### 国内外のリソースを統合し、オプトエレクトロニクスの輝かしい章を構成

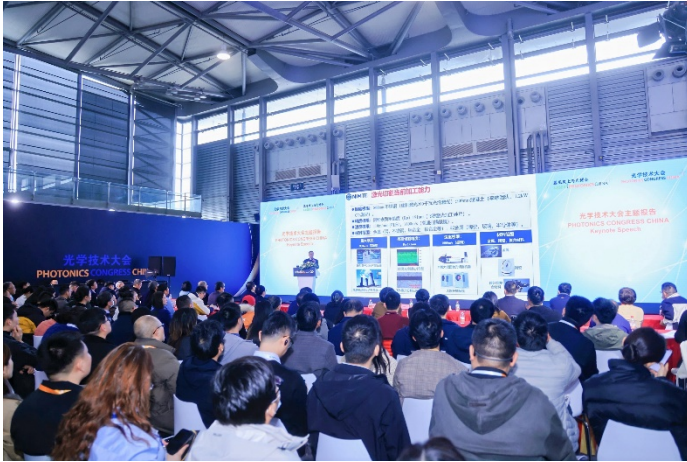
国内外のメーカーが、「生産技術用レーザーとそのレーザーシステム」、「レーザーとオプトエレクトロニクス」、「光学計測と品質保証」、「オプティクスとオプティクス製造技術」、「赤外線技術とその応用」の5つの主要分野で、主力製品、技術、ソリューションを展示し、自社の強みをアピールした。国外からの出展者は、アメリカ、ドイツ、日本、カナダ、スイス、フランス、イギリス、韓国をはじめ、非常に多くの国にわたっている。TRUMPF社、Coherent社、APATech社、MKS社、Novanta社、SCANLAB社、駿河精機株式会社、BINZEL社、RAYLASE社、PI社、Thorlabs社、MOTIONSMART社、株式会社キーエンス、浜松ホトニクス株式会社、株式会社ミットヨ、Precitech社、Beamtech社、Iradion社、Precitech社、Edmund Optics社、ZYGO社、株式会社アマダウエルドテック、Hengtong社、Photonics Industries社、TOPTICA社、Lumentum社、nLIGHT社、LIGHT CONVERSION社、AMP社など、数多くの国際企業が出展した。



一方、国内企業がますます活況を呈している。今回の見本市には、国際舞台で活躍する主要企業だけでなく、次のような業界の新進気鋭の企業も参加した。Han's Laser社、CIOMP社、Raycus社、Maxphotonics社、HGLASER社、UltronPhotonics社、BWT社、Hymson社、Delphi Laser社、CIOMP社、Haitian社、Reci社、Wavelength Opto-Electronic社、Ospri社、EMPOWER社など。これらの企業の存在は、「Made in China」の強力なパワーを際立たせるに留まらず、国内外の業界関係者やバイヤーの多様な購買ニーズに応えるものでもあった。

## PHOTONICS CONGRESS CHINA と LCLQ:世界水準の学術饗宴

PHOTONICS CONGRESS CHINA と Light Conference on Laser & Quantum (LCLQ)が、LASER World of PHOTONICS CHINA と同時に開催された。この2つの同時開催イベントでは、10件余りのフォーラムが並行して開催され、200件に上る基調講演が行われた。そこには、国際学术界に広範な影響力を持つ国内外の多くの専門家や学者、業界リーダーが一堂に会しており、参加者には国際的な視野を広げる貴重な機会であった。そして、先端技術の応用を含めて、中国のオプトエレクトロニクス市場と世界のオプトエレクトロニクス産業の発展状況について具体的な情報を得る絶好の場となった。



さて、LASER World of PHOTONICS CHINAの成功は、参加者の方々の確かな支援と参加の賜物であり、20周年記念にあたって、心より感謝申しあげたい。

次回の LASER World of PHOTONICS CHINA は、2026年3月18日から20日まで Shanghai New International Expo Centre で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用 HP [www.world-of-photonics-china.com.cn](http://www.world-of-photonics-china.com.cn)まで

### LASER World of PHOTONICS CHINA 2024 主な出展日本企業(現法出展など含む)

暁明技術(株)、旭興産(株)、(株)アマダ、ウシオ電機(株)、(株)オキサイド、(株)オハラ、(株)キーエンス、キヤノンアネルバ(株)、コニカミノルタ(株)、信越化学工業(株)、(株)テクニスコ、(株)ハギテック、白銅(株)、浜松ホトニクス(株)、(株)日立ハイテク、(株)ミツトヨ、横河計測(株) など (50音順)

資料請求、各種お問い合わせ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部  
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語/ドイツ語)